

▽…六月定例県議会は論じた。

▼…渡辺英気氏(自民)

山(自民)は「産業構造の精神を胸に頑張ってほしい」と知事にエール。

戦最終日の二十四日もこのままでは財政再建団体へ

は、窮乏状態の藩財政を

また草薙隆幸氏(民主)

可欠。財政危機だが、将来にわたって財政が潤う

の転落も…(石

再建した江戸時代の米沢

は「東京都のある市は住

流通団地の早期整備に大

井知事)という

藩主上杉鷹山に触れ、「大

民参加で水辺公園の経費

英断を」。最後に登壇し

厳しい県財政が

焦点に。一般質

た古市健三氏(同)は「財

政は厳しいが、AMDA

問に立った四氏

はそれぞれ、財

を三分の一に削減した」

国際大学の誘致は二十一

政立て直しの心

殖産興業に尽力した結

と例を挙げ、住民参加に

させない投資」と、そ

構えや秘策を提言したり、

果、天明の大飢きんにも

よる財政再建を提言し

れぞれ新しい施策を求

二十一世紀に備えた積極

藩内から一人の餓死者も

た。

めた。

策を披歴、熱弁を振るっ

出さなかったという。鷹

▽…一方で、小田春人

取材 旺

財政再建へ秘策？提言